

永井美之センター長が日本学士院賞を受賞

12日の日本学士院総会において、永井美之センター長（感染症研究ネットワーク支援センター）が、下記の業績により第98回日本学士院賞を受賞されることが決定しました。

授賞式は、6月9日に日本学士院にて行われる予定です。

< 参考 >

日本学士院のホームページ
(<http://www.japan-acad.go.jp/>)

日本学士院賞授賞の決定について
(<http://www.japan-acad.go.jp/japanese/news/2008/031201.html>)

受賞者名：永井 美之
(感染症研究ネットワーク支援センター長)

受賞業績：パラミクソウイルス病原性の分子基盤の解明と
新規発現ベクターの創出



< 略歴 >

昭和	40年	3月	名古屋大学医学部医学科卒業
昭和	48年	4月	名古屋大学医学部附属癌研究施設助手
昭和	48年	5月	名古屋大学医学博士
昭和	49年	4月	ユストゥス・リービッヒ大学（ドイツ・ギーゼン） ウイルス研究所研究員（昭和51年6月まで）
昭和	54年	4月	名古屋大学医学部附属癌研究施設助教授
昭和	59年	2月	名古屋大学医学部附属病態制御研究施設教授
平成	5年	4月	東京大学医科学研究所ウイルス感染研究部教授
平成	10年	6月	国立感染症研究所エイズ研究センター長
平成	12年	4月	名古屋大学名誉教授
平成	13年	4月	富山県衛生研究所長
平成	13年	11月	紫綬褒章
平成	17年	7月	理化学研究所感染症研究ネットワーク支援センター長 ～現在に至る